

# おんしんの通信簿

仮決算のご報告など

第19号

まず、ご好評をいただいております **おんしん講演会** のご報告です。

11月19日(日)に、例年より広い宗像ユリックスの大ホールを貸し切り、ゲストに **三遊亭歌之介 師匠** と、テレビの「開運!なんでも鑑定団」や、「いい仕事してますね」の名文句でおなじみの **中島誠之助 氏** のお二人をお招きしましたが、予想をはるかに超えるご応募をいただき、一部ご期待にそうすることができませんでした。この場をお借りして、お詫び申し上げます。

さて、上半期の営業成績(仮決算)をご報告いたします。

おかげさまで、上半期 **税引後純利益** は、**約5億4百万円** を計上し、この結果、**自己資本比率** は **12.32%** 程度を確保。預金の平均残高も3月比で**1.41%** 増え **1.604億円** になりました。預金以上に貸出金の平均残高は増加し、3月比で**1.76%** 増えて **1.073億円** となり、預金に対する割合 (**地域経済への貢献度**) は **66.93%** に上昇。業界平均を約**10%** も上回っています。積極的な貸出の結果として生じた不良債権 (**細菌**) に対する担保や引当などの **治療(そなえ)** も万全。また、**有価証券の評価益** は、業界屈指の高水準を誇っています。

**スモール イズ ナイス!**

私たち **おんしん** は、地域の皆様と共に  
ひたすら走り続けます。

平成18年11月



※ 仮決算は、銀行などの中間決算のルールに準じて信用金庫が自主的に行っています。そのため一部「約〇〇」や「〇〇程度」といった表現になっています。裏面も併せてご覧ください。

## 1. 平成18年9月期の主な計数

(単位：百万円、%)

	平成17年9月	平成18年3月	平成18年9月	増減(率)※
貸出金期末残高	105,212	109,468	109,604	0.12
預金期末残高	158,017	156,931	160,113	2.02
貸出金平均残高	104,439	105,507	107,371	1.76
預金平均残高	158,143	158,175	160,420	1.41
預貸率(末残)	66.58	69.75	68.45	△1.30
預貸率(平残)	66.04	66.70	66.93	0.23
業務純益	753	1,312	727	※9月は半年分の利益のため単純に比較できません。
経常利益	671	757	630	
当期純利益	412	414	504	
自己資本比率	12.08	12.12	12.32	

※ 平成18年3月期に対する平成18年9月期の増減(率)を表示しています。金額・率ともに単位未満は、切り捨てて表示しています(以下も同じ)。

※ 貸出金の業種別の状況(残高構成比)は、下表のとおりです(「個人」は住宅および消費資金。単位%)。

	個人	不動産業	サービス業	卸・小売業	建設業	製造業	地方公共団体	運輸業	その他
17年9月	33.6	21.7	16.3	8.4	8.9	4.2	3.4	2.0	0.9
18年3月	30.6	23.6	15.8	8.3	8.7	4.0	5.6	2.0	0.9
18年9月	29.3	25.1	17.4	8.8	8.4	4.2	3.2	2.0	1.1

## 2. 不良債権(金融再生法開示債権)の内容

(単位：百万円)

	平成18年3月期	平成18年9月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,441	7,031
危険債権	3,441	2,328
要管理債権	762	670
合計	10,644	10,029

※ 不良債権の区分は3月期と同じです。3月期とほぼ同様の方法で自己査定を行い、算出しています。なお、3月期の不良債権に対する「備え(保全率)」は93.75%の高さでした。

## 3. 有価証券の時価情報

(単位：百万円)

	平成18年3月期				平成18年9月期			
	時価	評価差額		時価	評価差額			
		うち益	うち損		うち益	うち損		
株式	3,347	761	761	-	3,082	678	692	△14
債券	20,869	△360	43	△403	20,009	△135	61	△196
その他	7,982	1,367	1,413	△45	7,664	1,162	1,195	△32
合計	32,199	1,768	2,217	△449	30,756	1,705	1,949	△243

※ 「売買目的有価証券」および「満期保有有価証券」の該当がないため、時価がある「その他有価証券」について表示しています。